看護学部海外研修生受け入れプログラム（Summer Program 2026）報告

2026 年 6 月 29 日（月）～ 7 月 10 日（金）に海外協定校（台北医学大学、ミネソタ州立大学マンケート校、トマス・モア応用科学大学）の研修生 5 名とミネソタ州立大学マンケート校マリリン・スワン教授を迎え、看護学部 Summer Program 2026 を実施しました。看護教育や臨床の最新動向に関する講義のほか、大学病院や近隣の医療機関、地域活動などでの臨地見学を通して、看護実践の現場を体験しました。研修生からは、「学内講義や演習を通して日本の医療制度や看護の動向を学び、自国の状況と比較することで、自国の医療に対する課題意識も明確になった」「関西 BNCT 共同医療センターや化学療法ロボットなど高度な医療技術と専門性を発揮したチーム医療・看護に感銘を受けた」「一人一人を尊重し、大切にする日本の看護のホスピタリティから多くを学んだ」などの声が寄せられました。また、今年度から本学学生が研修生一人ずつにサポーターとして関わるバディ制度を導入したこともあり、京都ツアーや International Day の企画に加え、プライベートでの学生間交流も積極的に行われました。日本の文化、礼節、思いやりに触れたこと、病院スタッフを含め教職員の献身的なサポートが大変印象的であったとの意見も多く見られました。参加者にとって、日本の医療・看護から学び、自国での看護活動に活かす貴重な機会となりました。







